報酬委員会報告

独立社外取締役
報酬委員長
筒井 高志

MSVの実現、今後のさらなる飛躍に資する報酬制度の追求

当社が志向する「アセット・アセンブラー」モデルの推進においては、共同社長のリーダーシップのもと、相互信頼に基づきグループ経営陣全員が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を整えることが不可欠です。この実現のためには、画一的な報酬制度による管理は最適とはならず、より柔軟に「MSVの実現に真に資する報酬とは何か?」を究めることが求められます。

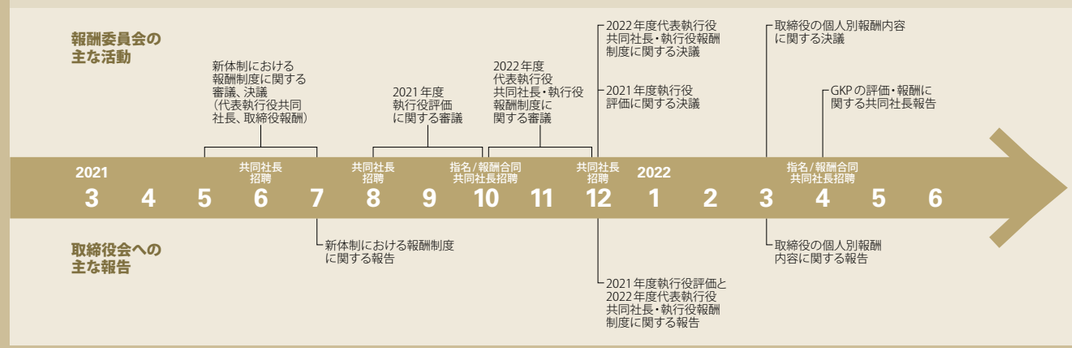
私たちは、共同社長の報酬において報酬総額がある程度の水準に達すると、その金額の高低ではなく、むしろ「取締役会から信頼され、当社グループの命運を握る重責を任されている」ことこそが彼らのモチベーションを最大化させると考えるのです。

この考え方に基づき、2022年度のウィー共同社長の報酬総額を前年度と同額としました。増額によるモチベーションの向上は必要ないと判断したのです。さらに現金と株式の割合についても既往の現金報酬を株式報酬に置き換えることはMSVの実現へのインセンティブを増強しないと判断し、全額を現金報酬としました。また、共同社長体制としての報酬バランスについても議論を重ね、若月共同社長の報酬についても同様に現金報酬のみとしました。

私たち報酬委員会の使命は、唯一のミッションであるMSVの実現に向けて、共同社長のモチベーションを最大化するとともに、彼らのパフォーマンスを厳格に評価することを通じ、株主の皆様との価値共有をさらに進めることです。私たちはこれからもMSVの実現に資する報酬制度を追求し、当社の飛躍的な成長に貢献していきます。

委員長	筒井 高志(独立社外取締役)
委員会の構成	※ 委員長は独立社外取締役
委員会の役割	取締役・執行役の個人別の報酬などの決定方針、個人別の報酬などの内容を決定

開催回数	2021年度(2021年3月下旬〜2022年3月上旬)	18回
	2022年度(2022年3月下旬〜2022年6月末)	3回
主な活動内容	取締役・執行役の個人別の報酬などの決定方針(報酬フィロソフィー、代表執行役共同社長報酬の設計方針)、その方針に基づく個人別の報酬の内容を決議しました。	



役員の報酬決定方針

当社では、独立社外取締役を委員長とした報酬委員会が、取締役・執行役の報酬総額の水準や報酬構成を決定しており、パートナー会社の主要経営陣であるGKP(Global Kye Persons)については、共同社長からの報告を通じて報酬額の決定状況を監督しています。具体的な水準や報酬構成は、社会情勢や他社比較、市場水準などの客観的な情報収集・分析を行い、外部アドバイザーの意見も踏まえた上で、報酬委員会で定めた「報酬フィロソフィー」「代表執行役共同社長報酬の設計方針」(P112参照)に基づき、公正・透明に審議を行い、決定しています。

役員報酬の構成

代表執行役共同社長の報酬構成

共同社長の報酬は、報酬総額を定めた上で、現金報酬と株式報酬の最適構成比を毎期決定しています。

具体的には既往の報酬との連続性、市場や他社ベンチマーキング調査などに加え、共同社長との対話やGKPとの密なコミュニケーションなどを通じ、前年度の共同社長のパフォーマンスを財務・非財務視点で総合的に評価した上で、次年度の報酬総額をゼロベースで毎期定め直し、その現金・株式の構成も都度見直しています。これにより、MSVの実現へのモチベーションを最大化し、さらなる飛躍へのインセンティブが働く報酬としています。

執行役の報酬構成

共同社長を除く執行役の報酬は、「職責給」「業績連動給」「長期インセンティブ給」で構成しています。

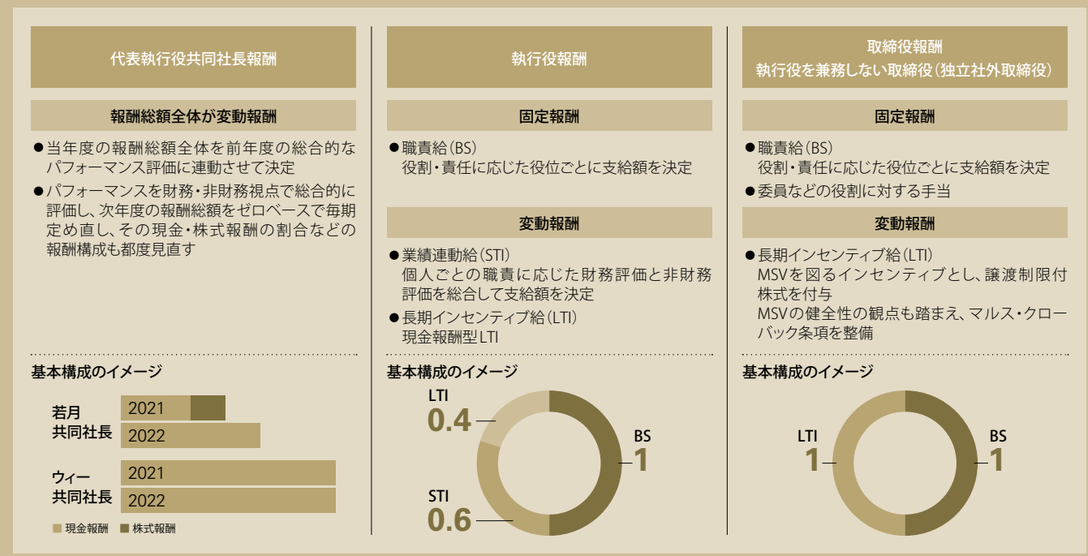
「業績連動給」と「長期インセンティブ給」の金額は、共同社長からの評価に基づき報酬委員会で決定されます。

「業績連動給」は、経営環境の変化が激しい状況において柔軟かつ適正な評価による適切なインセンティブとするため、財務評価に加え非財務評価も踏まえた総合的な評価としています。非財務評価項目は、リスクマネジメントを含むグループ内部統制などのガバナンスに関連する貢献を基軸とし、多様な人材が活力高く働く環境づくりや文化の醸成、人材育成などのダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)に関する成果などが評価されます。

「長期インセンティブ給」は、より長期的なサステナビリティ、グループ全体最適への貢献や今後の期待に関する総合的な評価に基づき決定し、事業年度ごとに3分の1ずつ、3年間にわたり支給する現金報酬としています。

取締役の報酬構成

執行役を兼務しない取締役(独立社外取締役)の報酬は、「職責給」「委員などの役割に対する手当」「長期インセンティブ給」で構成しています。

「長期インセンティブ給」は、譲渡制限付株式報酬です。これは、取締役が「アセット・アセンブラー」としてのグループ経営に対する監督のみならず、株主の皆様から負託された経営資源の配分に関する重要な意思決定にかかる役割とリスクを負っており、MSVの実現へ向けた株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的としています。

役員報酬構成